総合教育会議協議資料

公共施設のあり方について

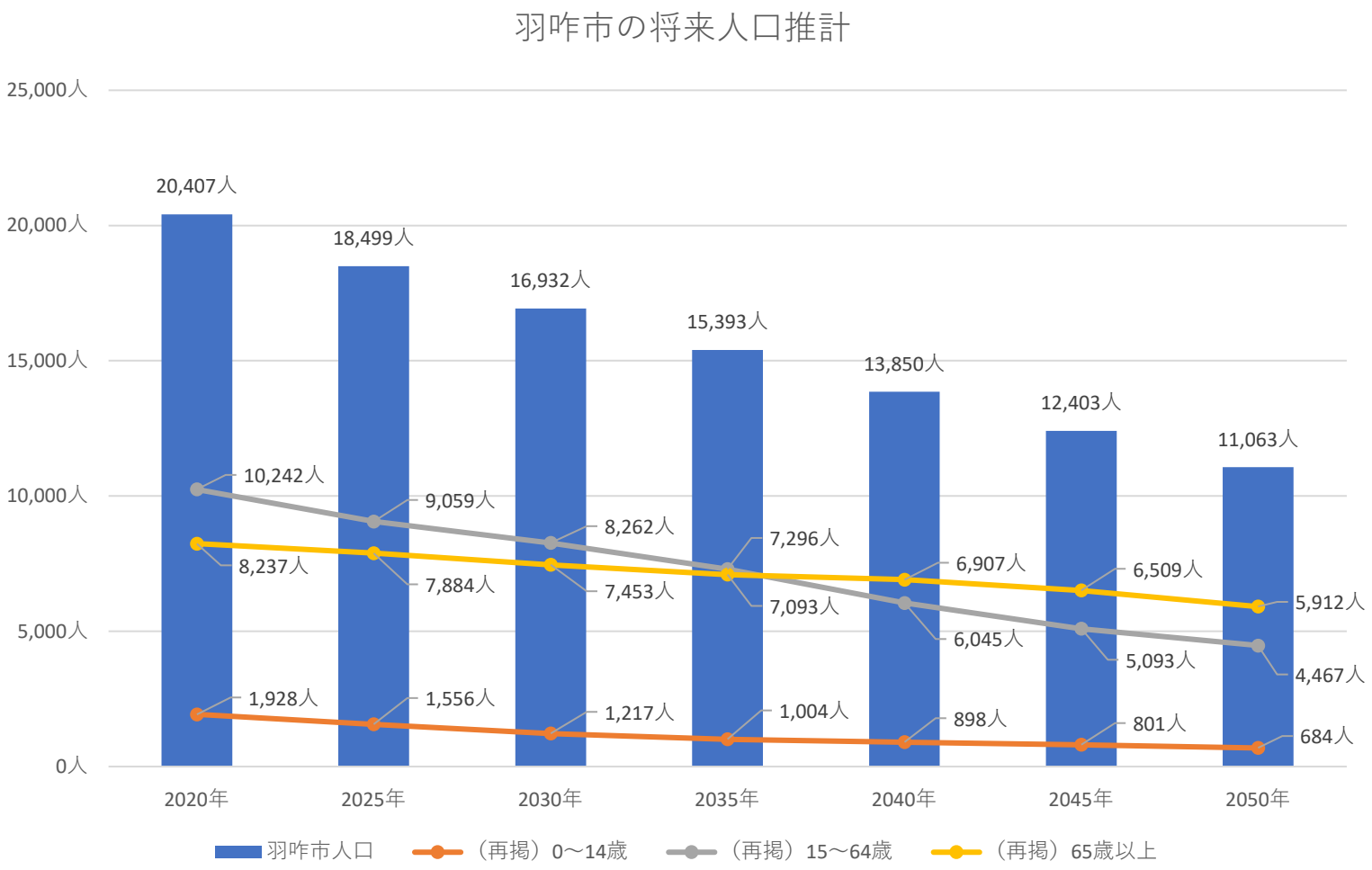
～持続可能な教育環境と地域コミュニティの構築に向けて～

羽咋市資産活用室

令和8 年9月

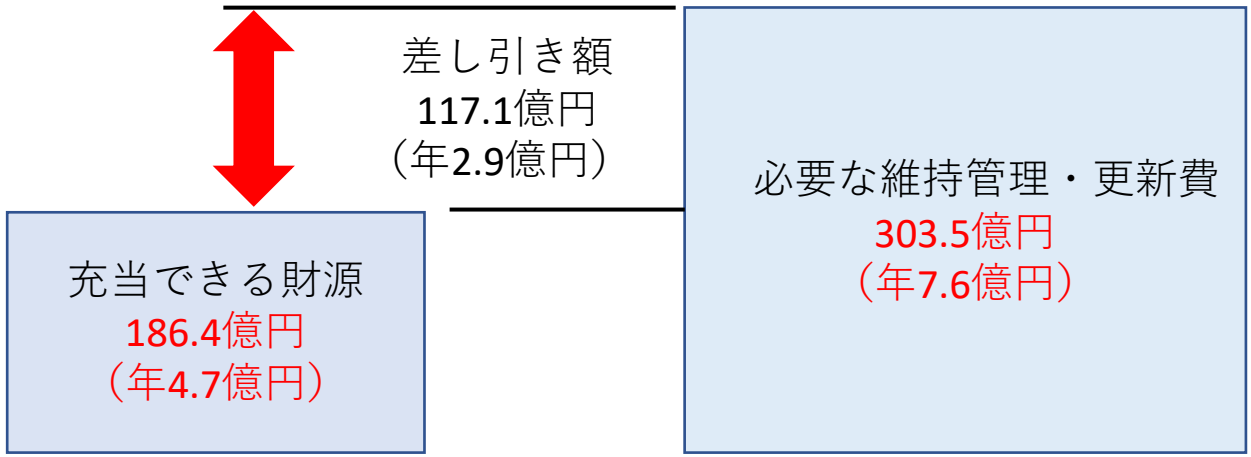
羽咋市の将来推計人口

日本の地域別将来推計人口
令和５(2023)年推計　より

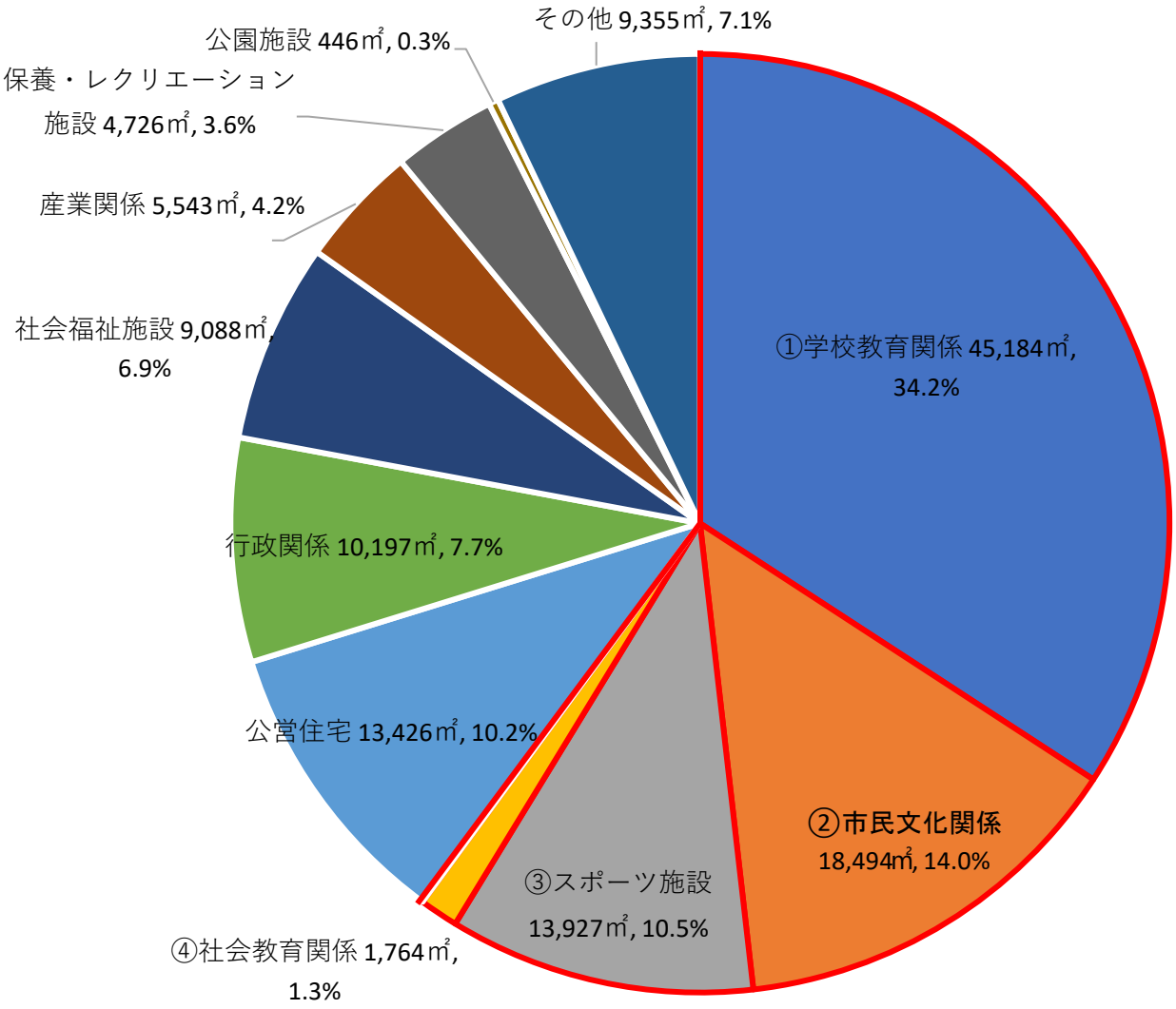


公共建築物の維持管理・更新費用

公共建築物に関する充当できる財源と必要な維持管理・更新費
（2016年～2055年　40年間）



公共建築物の面積の内訳



総面積　132,150㎡

教育関係施設総面積
①＋②＋③＋④
＝79,369㎡　60.1％

公共建築物の面積の内訳

分　類	主な施設
①学校教育関係	小・中学校施設
②市民文化関係	公民館、コスモアイルなど
③スポーツ施設	体育館、ユーフォリア千里浜、武道場など
④社会教育関係	図書館、資料館
公営住宅	公営住宅、定住促進住宅
行政関係	消防施設、庁舎等
社会福祉施設	児童センター、老人福祉センター、保育所など
産業関係	勤総センター、道の駅など
保養・レクリエーション施設	ゆ華、ちびっこ自然センターなど
公園施設	各種公園施設
その他	普通財産、駅東改札口、LAKUNAはくい、小規模建物など

各種計画における公共施設の整備・維持管理方針

「羽咋市公共施設等総合管理計画」（2022.3改訂）における公共施設等の総合的・計画的な維持管理に関する基本方針

- 【基本方針１】 保有する公共施設等総量の適正化を進める
- 【基本方針２】 予防保全の取組を計画的に実施し長寿命化を進める
- 【基本方針３】 民間との連携、民間活力の活用を進める

「羽咋市立地適正化計画」（2025.1改訂）におけるまちづくりの方針

【まちづくりの方針】

羽咋駅周辺におけるにぎわい交流拠点を核とした、誰もが暮らしやすいコンパクトな市街地の形成

公共施設等総合管理計画での各施設の方針について（教育委員会関係分）

地区公民館の方向性　（11地区13施設→変更なし）

【基本方針１】 施設数（各地区への配置）は現状維持を基本とする

【基本方針２】 学校、福祉施設等との複合化や跡地活用の検討

【基本方針３】 公民館補完施設（体育館）の廃止に向けた検討

地域コミュニティの維持

現状施設の継続

10地区11公民館を継続

施設の統廃合

複合化

更新時期を見極めながら学校、福祉施設等との複合化

跡地の活用

跡地（空き教室等）を活用

老朽付属施設の廃止

一ノ宮公体育館

廃止・解体の検討

上甘田公体育館

廃止・解体の検討

利用者の受け皿の確保

学校施設体育館の利用

文化ホール等の方向性　（コスモアイル羽咋・図書館→変更なし）

【基本方針】

現状維持を基本としつつ、管理運営方法の充実を図る

委託内容の検討

維持費の縮減

コストパフォーマンスの徹底的な検証と効率化

サービスの充実

市民サービスの質を落とさず、向上をめざす

民間活力活用の検討

ノウハウの導入

民間企業ならではの柔軟な発想と企画力

経営の効率化

専門的な管理運営による自立的な施設運営の推進

空きスペース有効活用

多目的な活用

館内の未利用スペースの新たな活用方法の模索

図書館機能の検討

図書館機能も含めた相乗効果のある有効活用

博物館等の方向性　（歴史民俗資料館→変更なし）

【基本方針】

現状維持を基本としつつ複合化の可能性を検討

地域の歴史・文化の継承拠点

現施設の継続運営

歴史的遺産や民俗資料を次世代へ継承するため、現施設を継続

地域学習の場

学校教育や社会教育における活用

空きスペース活用・複合化

未利用スペースの検討

館内の未利用スペースの新たな活用方法の模索

施設間連携による複合化の検討

コミュニティ機能や学習スペースとの統合の検討

スポーツ施設の方向性　（9施設→変更なし）

【基本方針１】 更新時期を見極めた適正配置の検討

【基本方針２】 学校等の関連施設と連携した更新の検討

【基本方針３】 ユーフォリアの管理運営充実

適正配置

老朽度・稼働率

施設稼働率等を考慮した適正配置の検討

他施設との調整

類似施設（庁舎体育館、勤労福祉センター等）も含めた総合的な調整

関連施設との連携

統廃合跡地等の活用

統廃合による跡施設等の活用による更新の検討。

ユーフォリアの運営充実

民間活力の活用検討

施設の維持管理に関する民間活力の活用

民営化（民間移譲）の検討

さらなる効率化とサービス向上を見据えた民営化の検討

小中学校の方向性　（小6施設、中2施設→小4施設、中2施設）

【基本方針１】 施設の適正な規模と配置に向けた検討

【基本方針２】 空き教室等を活用した複合化の検討

【基本方針３】 長寿命化整備の推進

施設の規模と配置の適正化

児童数の将来見込みを踏まえた統合

羽咋中学校区で4小学校を3校もしくは2校に集約

邑知中学校区で2小学校を1校に集約

施設複合化の検討

空き教室や跡地の活用

空き教室や跡地の有効活用

地域施設との複合化

地域施設（公民館、放課後児童クラブ等）との複合化検討

管理運営方法の検討

学校給食共同調理場の民間委託、民営化等の検討

長寿命化整備

計画な長寿命化整備

羽咋市学校施設長寿命化計画に基づき推進

公共施設適正化へ向けた取組みについて
（教育委員会関係分）

教育委員会施設での取組み（公共施設の適正化）

将来見込みを踏まえた統合・廃止・有効活用の状況

児童数の将来見込を踏まえた統合

余喜小学校

令和5年3月閉校
（邑知小学校と統合）

西北台小学校

令和８年3月閉校
（羽咋小学校と統合）

老朽施設の廃止

文化財収蔵庫

令和6年2月解体
跡地に仮設住宅（石野団地）を整備

余喜公民館

旧余喜小学校に公民館機能を移転。

空き教室の利用

粟ノ保小学校

学童クラブ（1室）
令和7年8月～

瑞穂小学校

学童クラブ（1室）
令和7年8月～

今後の課題

公共施設の適正化へ向けた課題

各施設の適正化へ向けた課題

小中学校

羽咋小学校
大規模改造または建替えの検討

小規模校
粟ノ保小、邑知中の統廃合の検討

余喜スポーツセンター

地震の被害
地震による地盤の沈下

施設の解体
解体費用の捻出と跡地利用の検討

施設の改修

コスモアイル羽咋
大規模改修
運営の効率化

ユーフォリア千里浜
大規模改修
運営の効率化

閉校施設の有効活用

旧余喜小学校
公民館施設として利用されていない部分の有効活用

旧西北台小学校
民間利用も含めた有効活用の検討

公民館付属施設の廃止

老朽化施設の解体
一ノ宮、上甘田公民館体育館の解体

旧西北台小学校
廃止施設利用者の受け皿の検討